



1 試行錯誤で達成感あり



コース上でロボットを
走行させる学生達



レゴ・マインドストーム

「ロボット制御実習」(1年)では、C言語によるレゴ・マインドストームの制御を学んでいます。

この日は、二人一組となってライトレースのプログラムを作成していました。床に広げられたコースは、白地に黒いラインが複雑に引かれており、指定されたスタート地点からゴールまで完走させる課題(レース)に取り組んでいました。

ライトレースは、カラーセンサーから光を出してその反射光を読み取りながら左右のタイヤを回転させ、ジグザグ走行でラインを追跡するものです。

三木悠矢さん(水戸葵陵高卒)は「ロボットの動作プログラムは、試行錯誤で確認していますが、上手く動いたときの達成感は最高です」と話していました。来週実施される3つの課題(レース)に向け、真剣に取り組んでいました。

3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 日本経済新聞(2023年1月4日)
社会人は「会社人」にあらず

◇要約

●海野璃衣さん(土浦三高卒)
企業就職後に早期退職する若者が増えている。一生懸命に働き周囲の人への気遣いやリスペクト、そして強さが必要である。組織で働くと、気が合わない人もトラブルもある。それでも折れない強さが必要である。



◇感想

●三村航芽さん(水戸商高卒)
今後社会人になっていくうえでになる記事だと感じた。

与えられた仕事をこなすだけではなく、自分の力で生きていけるスキルを身に付け、日々勉強していきたい。これからの人生は、自己成長を意識していきたいと思う。

●作山翔梧さん(多賀高卒)

この記事を読んで、与えられた仕事をこなすだけではなく、自ら学ぶことが必要だと気付いた。

就職するだけで満足するのではなく、仕事の合間をなどの時間を見つけて資格や新しい技術を身に付ける勉強を行っていきたい。

●古佐原蒼彩さん(勝田工高卒)

周囲の人への気遣いや、仕事に対して一生懸命に働くなど、当たり前なのが、難しいと感じることがあります。

多くの企業で資格取得を重視しています。私もスキルアップを怠らないうでいきたい。

●原田悟さん(石岡商高卒)

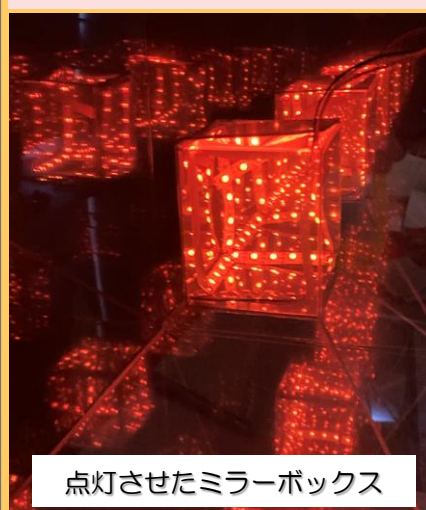
大変な就職活動が終わった後に、早期退職は絶対にしたくないと思いました。

そうならないためには、企業について良く調べ、記事にあるように自分とは何かを問い続けることが大切だと思う。

離職しないようにしていきたい。

2 卒業研究発表会プログラム③

3月9日(木)の卒業研究発表プログラムが右表のように発表されました。学生は、研究のまとめや論文作成に追われています。鈴木竜馬さん(佐竹高卒)は、LEDをミラーボックスに組み込んだアート作品を製作しました。プログラムで多彩な光を楽しむことができます。



点灯させたミラーボックス

No.	発表者	発表テーマ
1	小島 快斗(多賀高卒)	フレームワークを用いたセキュリティ対策の整理
2	小日向星弥(竜ヶ崎南高卒)	セキュリティマネジメント試験対策Androidアプリの開発
3	齊藤 奏汰(下館工高卒)	農作業支援システムの製作～ユーザ管理～
4	西丸 佳音(水戸商高卒)	社会人基礎力を高める新聞活用の実践研究
5	佐々 信輔(勝田高卒)	標的型攻撃メール対応訓練システムの開発
6	嶋田 一哉(友部高卒)	ヒューマンエラー防止に向けた備品管理WEBシステムの開発
7	島田 尚門(つ国東風高卒)	IT短大における個人情報等のデータベース構築
8	関 晃汰(太田一高卒)	IT短大における個人情報管理システムの開発
9	根本 拓弥(勝田工高卒)	チャレンジレスポンス認証-認証方式の違いによる比較-
10	宮本 留佳(水戸女子高卒)	PHPによる情報セキュリティ診断システムの開発
11	田村 太陽(鹿島高卒)	MASを用いたカシマサッカースタジアム周辺の交通シミュレーション
12	浅野 凱永(常磐大高卒)	非接触通信方式によるログインの実装と考察
13	海老根寛人(太田一高卒)	Capture The Flagの解析および情報セキュリティ教材の制作
14	芦沢 健太(勝田工高卒)	IT短大における出欠管理システムの開発
15	河野 巧夢(水戸農高卒)	ソフトウェアテストを実践的に学ぶための教材開発
16	日野 瑞月(水戸桜ノ牧高卒)	IT短大における時間割管理システムの開発
17	長谷川大翔(中央高卒)	AIを利用したゲームアプリの製作
18	日向寺輝行(鹿島高卒)	安価な顔認証システムの併用による生体認証精度向上